

稟議書

(例)

〇〇部〇〇〇〇〇〇殿

下記の情報セキュリティ教育の件につき、ご検討いただきたくお願い申し上げます。

起案日：令和〇〇年〇〇月〇〇日

起案者：〇〇部 〇〇係 〇〇二郎

件名	セキュリティ意識向上のために情報・サイバーセキュリティ管理士認定試験を受験する件について				
試験内容	<p>【一般財団法人全日本情報学習振興協会主催】 (https://www.joho-gakushu.or.jp/)</p> <p>情報・サイバーセキュリティ管理士認定試験は、情報セキュリティの管理に関する総合的な知識を有することを認定する試験です。今日の高度情報社会において、安心してコンピュータを利用、活用できるセキュリティ管理に関する能力は、すべての企業や団体で必ず求められる能力、必須の知識です。</p> <p>本試験は企業などで管理職やリーダーとして活躍している層、セキュリティ関連部署の職員等を受験対象に想定して、取得者が部下や一般社員に情報セキュリティの指導ができる事を目的とした問題構成となっています。</p> <p>平成17年4月から開催され、平成23年に名称が一部変更となっていますが、約13年間で53回(平成30年5月現在)の開催を重ね、6万人以上が受験し、2万人を超える合格者数となっています。</p> <p>本試験は、企業ニーズに即して、近年の情報セキュリティインシデントを踏まえ、多岐にわたる脅威と求められる対策を加えた試験で、情報セキュリティの教育に適した検定試験であると思われます。</p>				
目的と教育効果	<ol style="list-style-type: none">① 顧客・取引先からの情報セキュリティに関する信用の拡大を図る。② 情報資産や個人情報の保護に関する現場の保護意識を強化する。③ 社内の情報セキュリティや情報管理体制を強化して情報漏洩の事故を防止する。④ 資格保持者が多数存在することで情報保護に関して積極的な企業イメージをつくる。⑤ 社内において社員に「学ぶチャンス」「学ぶ意欲」を提供する。				
受験と申込みなど・受験の扱い、	全国の15程の会場で年間4回開催されていますので、社員の最寄りの会場で1回30名程度ずつ何班かに分かれて受験日を指定、当日は個人単位で受験させる。受験日は有給休暇扱いとする。申込者の受験申込書は担当者が提出、受験票・合格通知は本人になされる。				
受験者の募集と合否結果の報告	推奨資格とする。1回の定員を決めて、入社年次の若い社員から順次受験者を募集する。募集は強制とはしない。できる限り受験の必要性を感じるように告知して応募者を募る。受験のための学習結果を重視して、合否の結果についての追求をしない。ただし、結果報告書を求める。不合格の場合、希望者は2回目までの受験を認める。				
受験料とその負担	受験料1人10,000円、受験料は2回目の受験まで会社負担とする。 試験団体の公認テキストを購入する、1冊2,780円。実物形式過去問題を開催団体が支給。 試験日当日の交通費などは自己負担。対策講習会などの出席についての金銭負担については予算があれば負担するのが望ましい。				
添付書類	<ol style="list-style-type: none">① 情報・サイバーセキュリティ管理士認定試験を開催する団体の経歴② 情報・サイバーセキュリティ管理士認定試験の試験内容、受験者数及び合格者率などのデータ③ 情報・サイバーセキュリティ管理士認定試験の募集チラシ④ 情報・サイバーセキュリティ管理士認定試験の問題サンプル⑤ 想定する受験者数と予算案				
受付日 受付者など	令和〇年〇月〇日 受付 受付者：〇〇 一郎				
決 裁 日	99年99月99日	99年99月99日	99年99月99日	99年99月99日	99年99月99日
決 裁 者					